

## 日興ロックフェラー医療戦略ファンド

追加型投信／内外／株式

### 償還 交付運用報告書

第10期（償還日2020年7月31日）

作成対象期間（2019年8月1日～2020年7月31日）

第10期末（2020年7月31日）	
償還価額（税込み）	30,614円83銭
純資産総額	405百万円
第10期	
騰落率	17.8%
分配金（税込み）合計	一円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興ロックフェラー医療戦略ファンド」は、2020年7月31日に償還いたしました。

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、医療関連企業の発行する株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっておりまいりました。

ここに、信託期間中の運用経過等についてご報告申し上げます。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<652938>

### 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

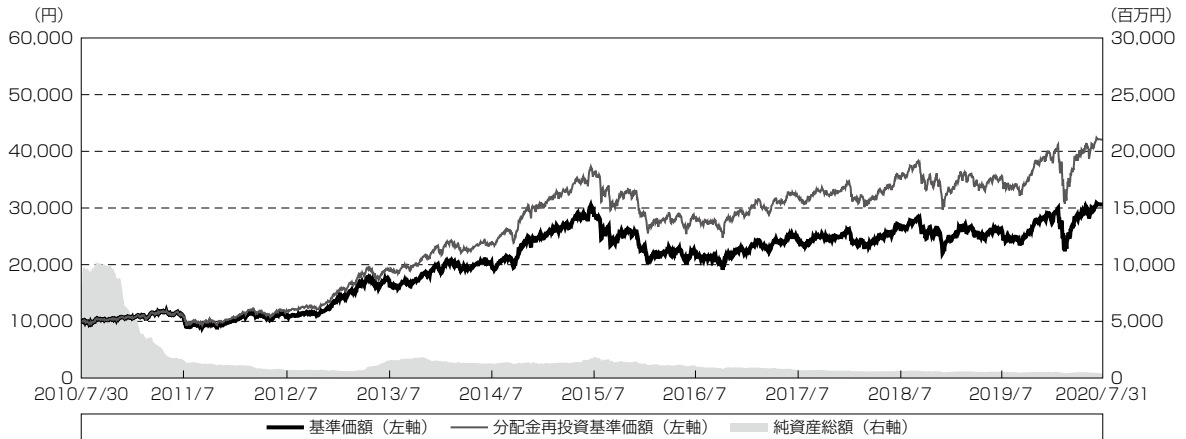
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 設定以来の基準価額等の推移

(2010年7月30日～2020年7月31日)



設 定 日：10,000円  
 期 末 (償 還 日)：30,614円83銭 (既払分配金 (税込み)：6,000円)  
 騰 落 率：320.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、医療関連企業の発行する株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・ バイオテクノロジー企業における技術革新や新薬の承認。
- ・ 活発なM&A (企業の合併・買収) 動向。
- ・ 新興国市場でのヘルスケア需要の高まりや、未だ満たされていないメディカル・ニーズの高まり。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・ 欧州債務危機などのマクロ経済的な懸念。

- ・ 薬価の引き下げやその懸念。
- ・ 地政学的リスクの高まり。

## 1 万口当たりの費用明細

(2019年8月1日～2020年7月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 564	% 2.090	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(303)	(1.122)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(238)	(0.880)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	( 24)	(0.088)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.023	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	( 6)	(0.023)	
（投資信託証券）	( 0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	2	0.008	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	( 2)	(0.007)	
（投資信託証券）	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	59	0.220	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 31)	(0.113)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	( 25)	(0.094)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（その他）	( 2)	(0.008)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	631	2.341	
期中の平均基準価額は、27,009円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

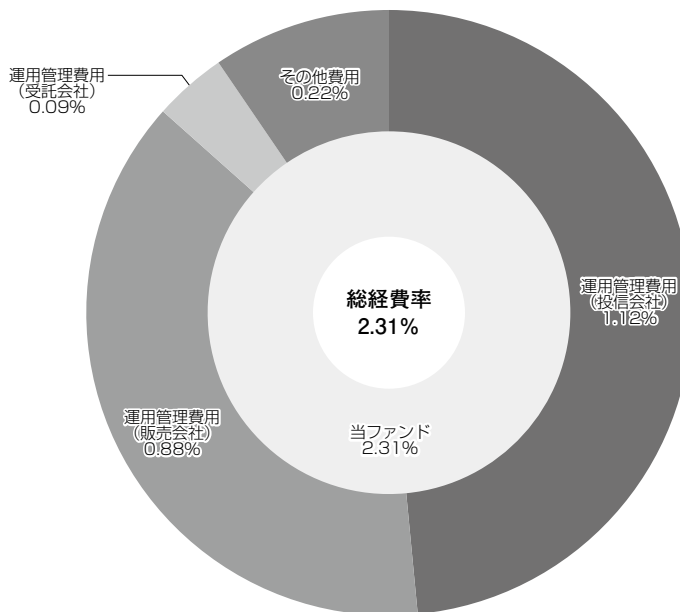
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.31%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年7月31日～2020年7月31日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年7月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年7月31日 決算日	2016年8月1日 決算日	2017年7月31日 決算日	2018年7月31日 決算日	2019年7月31日 決算日	2020年7月31日 償還日
基準価額 (円)	28,457	21,598	24,084	25,959	25,984	30,614.83
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	500	500	500	500	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△22.3	13.8	9.9	2.0	17.8
純資産総額 (百万円)	1,793	991	713	605	550	405

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

**投資環境**

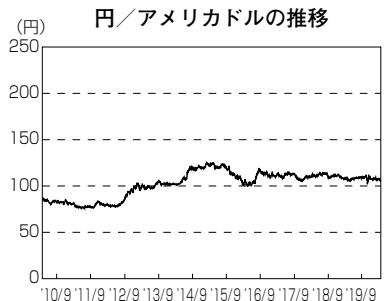
(2010年7月30日～2020年7月31日)

**(株式市況)**

設定から2015年の半ばにかけての世界の株式市場（ヘルスケアセクター）は、概ね好調に推移しました。欧州債務危機などが重しとなったものの、世界各国の中央銀行の流動性供給や活発なM&A、新薬の許認可動向などが追い風となりました。2015年の中盤以降の世界の株式市場は、中国景気の減速懸念や商品価格の下落などをを受けてリスク回避の動きが強まり下落しました。また英国の欧州連合（EU）離脱を問う国民投票の結果などが下押し圧力となりヘルスケアセクターの株価も下落圧力にさらされました。2016年の後半は、迫る米国大統領選挙に対する不安が投資家の間で続き、また選挙後もトランプ政権下で実施される政策変更を巡って不透明感が強く、ヘルスケアセクターは冴えない展開で越年しました。しかしながら2017年に入ると、米国の税制改革など追い風となる経済改革への期待が続いたことから、世界の株式市場は上昇しました。その後は、米中貿易摩擦などを背景にボラティリティ（変動性）が高まる局面があったものの、概ね好調な企業業績などから底堅い株価の動きとなりました。一方で2020年2月以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により多くの国でロックダウン（都市封鎖）の措置がとられ、世界経済に未だかつてないレベルの影響があり、市場にも大きく影響しました。また3月には原油価格が急落したことも加わり、投資家のリスク回避姿勢が強まり世界の株式市場は下落しました。その後は様々な金融・財政政策や主要国における経済活動の再開などによって世界の株式市場は回復が見られ、ヘルスケアセクターの株価も堅調に推移しました。

**(為替市況)**

信託期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2010年7月30日～2020年7月31日)

**(当ファンド)**

当ファンドは、「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

当ファンドは2010年7月30日の設定以来、約10年にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2020年7月31日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申しあげますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申しあげます。

**(グローバル医療戦略マザーファンド)**

バイオテクノロジー企業やヘルスケア機器などの分野に注目し、銘柄選択のプロセスを進めました。バイオテクノロジー企業における技術革新は目覚ましく、複数の医学学会へ出席し、また各種の論文を購読し、同時に時期ごとに細部のチェックを行なうなど、十分な吟味を行ない銘柄発掘に努めました。またこうした銘柄選択プロセスに基づいて、ポートフォリオでは銘柄入替などを行ないました。結果、例外的な時期を除いて、成長性が期待され割安で革新的な企業に積極姿勢で臨みました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2010年7月30日～2020年7月31日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**分配金**

(2010年7月30日～2020年7月31日)

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は6,000円(税込み)となりました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

## お知らせ

2019年8月1日から2020年7月31日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

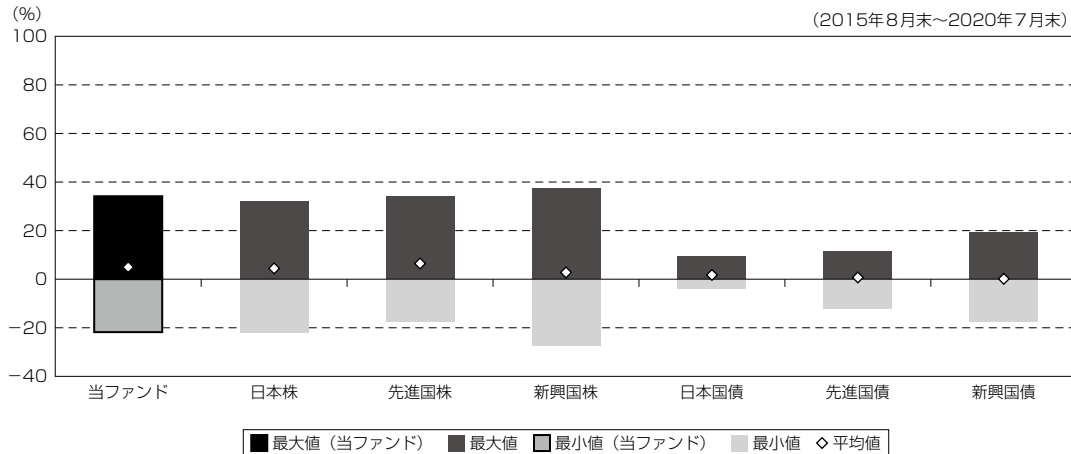
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2010年7月30日から2020年7月31日までです。	
運用方針	主として「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興ロックフェラー医療戦略ファンド	「グローバル医療戦略マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル医療戦略マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みません。）のうち、医療関連企業の発行する株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。医薬品メーカーに限らず、医療用機器やバイオテクノロジー、医療施設などの分野の企業を幅広く投資対象とします。原則として為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	34.2	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△21.8	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	5.0	4.4	6.5	2.8	1.7	0.7	0.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年8月から2020年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2020年7月31日現在)

2020年7月31日現在、有価証券等の組入れはございません。

※組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還 運用報告書（全体版）に記載しております。

## 純資産等

項 目	第10期末（償還日）
	2020年7月31日
純 資 産 総 額	405,538,704円
受 益 権 総 口 数	132,464,773口
1 万口当たり償還価額	30,614円83銭

(注) 期中における追加設定元本額は13,911,390円、同解約元本額は93,390,509円です。